

横光利一『上海』書誌稿(六)

† 村田好哉

まえがき

本稿は以下に掲げるものの続稿である。

1、横光利一『上海』書誌稿

『国際都市上海』所収 261～325頁 産研叢書1 上海プロジェクト班 大阪産業大学産業研究所発行 一九九五(平成七)年九月三十日

2、横光利一『上海』書誌稿(承前)

『大阪産業大学論集 人文科学編』第八十七号 55～73頁

大阪産業大学学会 一九九六(平成八)年三月一日

3、横光利一『上海』書誌稿(三)

『大阪産業大学論集 人文科学編』第九十一号 27～42頁

大阪産業大学学会 一九九七(平成九)年三月十五日

↓『中国関係論説資料1998年(平成10)年分第40号第2分

冊(上)『文学語学』収録 横光利一『上海』書誌稿(三)

187～194頁 論説資料保存会 一九九九(平成十一)年十二

月十日

4、横光利一『上海』書誌稿(四)

『大阪産業大学論集 人文科学編』第百十号 1～13頁

大阪産業大学学会 二〇〇三(平成十五)年六月三十日

↓『中国関係論説資料2004年(平成16)年分第46号第1分冊

(上)『哲学宗教文化』収録 横光利一『上海』書誌稿(四)

175～181頁 論説資料保存会 二〇〇五(平成十七)年十月

三十日

5、横光利一『上海』書誌稿(五)

『大阪産業大学論集 人文科学編』第百十三号 1～14頁

大阪産業大学学会 二〇〇四(平成十六)年六月三十日

↓『中国関係論説資料2005年(平成17)年分第47号第2分

冊(上)『文学語学』収録 横光利一『上海』書誌稿(五)

146～153頁 論説資料保存会 二〇〇七(平成十九)年一月

† 大阪産業大学教養部教授

草稿提出日 11月28日

最終原稿提出日 11月28日

三十一日

なお本稿は前記書誌の補遺編として、二〇〇〇（平成十二）年から二〇〇九（平成二十一）年までの横光利一『上海』研究文献目録の作成を試みたものである。

本稿の作成にあたっては、「横光利一文学会会報」に掲載中の横光利一参考文献目録とあわせて国文学研究資料館「国文学論文目録データベース」、国立国会図書館「NDL-OPAC」（国立国会図書館蔵書検索）、横光利一文学会ホームページ「<http://yokonitsu.jp.norg>」の「横光利一関連論文データベース」（同「論文データベース」は作成チームの掛野剛史、島村健司、高橋幸平、松村良、山崎義光諸氏によって管理・運営されている。二〇〇八年十月一日より公開）等を参照した。記して御礼を申し上げる。

一、『上海』テキスト一覧

井上 聰 横光利一『上海』本文（復刻） 11～164頁 『横光

利一と中国——『上海』の構成と五・三〇事件——収録 翰林書房 '06（平成18）年10月10日

初出雑誌『改造』および『文學クオタリイ』の本文復刻『改造』一九二八年十一月号 風呂と銀行（ある長篇の序章） 13～37頁

『改造』一九二九年三月号 足と正義（或る長篇の第二篇）

39～64頁

『改造』一九二九年六月号 掃溜の疑問（或る長篇の第三篇） 65～78頁

『改造』一九二九年九月号 持病と弾丸—或る長篇の第四篇 79～103頁

『改造』一九二九年十二月号 開港章（或る長篇の第五篇、及び前篇終り） 105～125頁

『改造』一九三二年一月号 婦人—開港章— 127～144頁

『改造』一九三二年十一月号 春婦—開港章— 145～158頁

『文學クオタリイ』第2輯 午前 159～164頁

『上海』序 横光利一（昭和十年） 5～5頁／上海 7～

309頁／付録 序（初版）横光利一 311～312頁／解説 小

田切秀雄 313～324頁／解説 横光利一の『上海』を読む

唐亜明 327～352頁 岩波文庫改版緑七五—二 岩波書店

底本「上海」（書物展望社、一九三五年刊） '08（平成20）

年2月15日

二、研究史及び解題

高根沢紀子 特集平成十一年（自1月至12月）国語国文学界

の動向 近代 川端康成・横光利一「文学・語学」第169号 94～95頁 全国大学国語国文学会 '01（平成13）年3月31

日

山本亮介 研究動向 横光利一「昭和文学研究」第47集 102

106頁 昭和文学会編 笠間書院発行 '03 (平成15) 年9月1日

松村 良 特集趣旨 「横光利一研究」 第10号 — 特集「横

光利一研究の現在と課題」 — 1〜2頁 横光利一文学会 '12 (平成24) 年3月17日

山本亮介 なぜ横光利一でなければならないのか — 司会を終えて — 3〜6頁 同右

掛野剛史 特集「横光利一研究の現在と課題」 I 伝記研究の領域 — 伝記研究についての展望 — 7〜12頁 同右

田口律男 II モダニズム研究の領域 — 象徴主義からモダニズムへ — 13〜28頁 同右

仙谷英紀 III レトリック・表現研究の領域 — 仮設された〈主体〉とレトリックの〈意志〉 — 29〜42頁 同右

島村健司 IV メディア研究の領域 — 横光利一文学の転回とメディアのかかわり — 43〜57頁 同右

石田仁志 V ジェンダー研究の領域 — 横光文学における《性》《結婚》 — 58〜65頁 同右

黒田大河 VI ポストコロナリアル・ナショナリズム研究の領域 — 『旅愁』論のアポリア — 66〜78頁 同右

井上 謙 十周年記念寄稿 横光利一雑感 79〜92頁 同右

伴 悦 《研究展望》十周年記念寄稿 横光利一文学研究と三・一一大震災 110〜113頁 同右

茂木雅夫 《研究展望》十周年記念寄稿 『旅愁』 — 新感覚

的構想 — 114〜117頁 同右

神谷忠孝 《研究展望》十周年記念寄稿 文学史的視野の必要性 118〜119頁 同右

三、横光利一参考文献目録

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録 (『横光利一文学会会報』第一〜六号掲載分) 平成八年 (一九九六) 〃

平成十六年 (二〇〇四) 「横光利一研究」 第3号 79〜98頁 横光利一文学会 '05 (平成17) 年3月30日

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録 (『横光利一文学会会報』第七〜十二号掲載分) 平成十一年 (一九九九) 〃

平成十九年 (二〇〇七) 「横光利一研究」 第6号 — 特集モダニズムの時代 — 115〜124頁 横光利一文学会 '08 (平成20) 年3月18日

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録 (『横光利一文学会会報』第十三〜十八号掲載分) 平成十六年 (二〇〇四) 〃

平成二十二年 (二〇一〇) 「横光利一研究」 第9号 — 特集モダニズムのボーダー — 165〜175頁 横光利一文学会 '11 (平成23) 年3月17日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 (『横光利一文学会会報』第十九〜二十四号掲載分) 平成三年 (一九九二) 〃

平成二十五年 (二〇一三) 「横光利一研究」 第12号 — 特集「春は馬車に乗つて」 — 140〜149頁 横光利一文学

会 '14 (平成26) 年3月17日

四、『上海』研究文献書誌

二〇〇〇(平成十二) 年

石崎 等 ユニフォームを着た上海―多田裕計『新世界』が
孕んでいるもの―「立教大学日本文学」 第83号 62～74
頁 立教大学日本文学会 '00 (平成12) 年1月25日

松寿 敬 『宇佐ふるさとの歴史』 昭和の文化人1 37小説
家・横光利一―文学の神様― 137～138頁 宇佐市教育委員
会 '00 (平成12) 年3月31日

古厩忠夫 『上海―重層するネットワーク』 総説 上海―
重層するネットワーク 3～28頁 日本上海史研究会編
主編古厩忠夫・高綱博文 汲古書院 '00 (平成12) 年3月
31日

↓『日中戦争と上海、そして私―古厩忠夫中国近現代史論
集』収録 I 日中戦争と上海 上海―重層するネットワー
ク 37～55頁 研文出版(山本書店出版部) '04 (平成16)
年9月10日

西垣 勤 書評 和田博文・大橋毅彦・真銅正宏・竹松良
明・和田桂子著『言語都市・上海 一八四〇―一九四五』
「阿部知二研究 城からの手紙」 第7号 79～81頁 阿
部知二研究会発行 賢明女子学院短期大学森本研究室発行
所 '00 (平成12) 年4月23日

津久井 隆 「近代部門」第二〇回研究発表大会 発表要旨

『上海』の女性たち「日本文学」 第49巻第6号6月号
82～83頁 日本文学協会 '00 (平成12) 年6月10日

綾目広治 『千年紀文学叢書3 アジア・ナシヨナリズム・
日本文学』 横光利一『上海』『旅愁』のナシヨナリズム
―文学のなかのアジア・日本・ヨーロッパ― 66～83頁
千年紀文学の会編 皓星社 '00 (平成12) 年7月25日

↓『倫理的で政治的な批評へ 日本近代文学の批判的研究』
収録 第二部 アジアと日本近代文学―「上海」「旅愁」
のナシヨナリズム―横光文学の中のアジア・日本・ヨーロッ
パ 115～140頁 皓星社 '04 (平成16) 年1月30日

葛谷 登 上海悠々―中国私見4 横光、マルロー、茅盾を
読む「福音と世界」 第55巻第10号10月号 61～67頁 新
教出版社 '00 (平成12) 年10月1日

山本亮介 横光利一「ある長篇」(『上海』) 再考―和辻哲郎
の思想を補助線に―「日本近代文学」 第63集 72～85頁
日本近代文学会 '00 (平成12) 年10月15日

↓『横光利一と小説の論理』収録 第二部 第四章「上
海」(ある長篇)(一九二八「昭3」)～一九三二「昭7」)
II 205～224頁 笠間書院 '08 (平成20) 年2月28日

島村 輝 《書評》趙夢雲著 田畑書店『上海・文学残像
日本人作家の光と影』『中国研究月報』 第54巻第10号
43～44頁 一般社団法人中国研究所 '00 (平成12) 年10月

25日

浦西和彦 「のんしやらん記録」のこと 「定本佐藤春夫全集

第18巻創作16 戯曲月報」 33 4～6頁 臨川書店 '00

(平成12)年12月10日

↓『現代文学研究の枝折』収録 II 佐藤春夫「のんしやらん記録」のこと 287～290頁 近代文学研究叢刊26 和泉書院 '01 (平成13)年12月25日

二〇〇一(平成十三)年

安藤 宏 『近代の日本文学 放送大学教材』 9—小説V—

マルキシズムとモダニズム 125～140頁 「3新感覚派と横

光・川端 131～134頁」野山嘉正・安藤宏編 財団法人放送

大学教育振興会 日本放送出版協会発行所 '01 (平成13)

年3月20日

↓『改訂版近代の日本文学』収録 9—小説V—マルキシ

ズムとモダニズム 135～152頁 「3新感覚派と横光・川端

142～145頁」野山嘉正・安藤宏編 放送大学教材 財団法人

放送大学教育振興会 '05 (平成17)年3月20日

河田和子 戦前の上海航路と昭和期の文学者 「コンパ

テリオComparatio」第5号 海老井英次教授退官記念号

91～98頁 九州大学大学院比較社会文化学府 '01 (平成

13)年3月20日

西座理恵 横光利一「上海」を巡って—砂でできた舞台のお

はなし—「繡」第13号 43～51頁 早稲田大学大学院文

学研究科日本文学専攻(近代) 繡の会 '01 (平成13)年

3月31日

十重田裕一 日本Ⅲ「羅生門、宮本武蔵、風立ちぬ、蟹工船、

放浪記」ほか〈大衆の時代〉 横光利一 方法としてのモ

ダニズム 「週刊朝日百科 世界の文学」第95号 142～145

頁 責任編集島村輝 朝日新聞社 '01 (平成13)年5月8

日

↓『朝日百科世界の文学第10巻日本Ⅲ5芥川龍之介、江戸

川乱歩ほか—大衆の時代』収録 横光利一 方法として

のモダニズム 『上海』『機械』 142～143頁 責任編集島村

輝 朝日新聞社 '02 (平成14)年4月20日

井上 聰 『上海』—二つの事件の意味するもの—「解釈」

第47巻第7・8号 通巻第556・557集 特集近代 20～29頁

解釈学会発行 日本学会事務センター事業部発売 '01 (平

成13)年8月1日

↓『横光利一と中国—『上海』の構成と五・三〇事件—』

収録 3 横光利一と中国—『上海』の構成と五・三〇事件

241～303頁 「一、五・三〇事件への流れ 242～246頁／二、

第一回目の事件 246～250頁／三、第二回目の事件 250～262

頁」翰林書房 '06 (平成18)年10月10日

猪木武徳 文学者の見た近代日本の経済と社会⑦ 横光利一

『上海』 「書斎の窓」 2001・9月号 第507号 24～27頁 有

斐閣 '01 (平成13) 年9月1日

↓『文芸にあらわれた日本の近代 社会科学と文学のあいだ』収録 第6章 グローバリゼーションと反帝運動 横光利一『上海』(一九二八〜三一年) 119〜139頁 有斐閣 '04 (平成16) 年10月30日

石田仁志 『堀辰雄事典』 IV 人知の譜 二、師事 横光利一 291〜292頁 竹内清己編 勉誠出版 '01 (平成13) 年11月10日

二〇〇二(平成十四)年

北田曉大 『一九三〇年代のメディアと身体』 第2部 一九三〇年代を読みなおす 第5章 メディア論的ロマン主義―横光利一と中井正一、メディアの詩学と政治学 165〜194頁 吉見俊哉編 青弓社ライブラリー23 青弓社 '02 (平成14) 年3月15日

林 少陽 横光利一の『上海』の書記体―「形、音、義」と「意」の視点から― 「言語情報科学研究」 第7号 295〜314頁 東京大学言語情報科学研究会 '02 (平成14) 年5月

中嶋 尚(司会)・河地 修・三宅和子・朝比奈美知子・石田仁志 シンポジウム 日本文学文化をどう考えるか 26頁 「石田仁志 二つの問題―日本・文学／文化 20」 26頁 「日本文学文化」 第2号 東洋大学日本文学文化学会 '02 (平成14) 年6月10日

岡庭 昇 『性的身体―「破調」と「歪み」の文学史をめぐる』 性的身体 5〜85頁 「横光利一 41〜49頁」 毎日新聞社 '02 (平成14) 年6月30日

林 少陽 言語の物質性を求めて―横光利一を通して見たある中国語小説の書記体・劉以鬯『飲んだくれ』を巡る「言語態」 第3号 101〜117頁 東京大学総合文化研究科言語情報科学専攻内言語態研究会 '02 (平成14) 年6月

井上明芳 横光利一「上海」論―分類された物語― 「国学院雑誌」 第103巻第11号 通巻第1147号 特集アジア世界の文化と交流 91〜103頁 国学院大学 '02 (平成14) 年11月15日

番條克治 『紀伊半島近代文学事典―和歌山・三重―』 横光利一 229〜230頁 和泉事典シリーズ13 浦西和彦・半田美永編 和泉書院 '02 (平成14) 年12月20日

二〇〇三(平成十五)年

井上 謙 『NHKカルチャアワー・文学と風土 東京文学探訪 大正・昭和を見る、歩く(下)』 第二十一回 焦土無惨 横光利一の「雨過山房」から世田谷文学館へ 下北沢界限 82〜92頁 日本放送出版協会 '03 (平成15) 年1月1日

河田和子 脇役28選 甲谷 横光利一「上海」「叙説」 第II巻第05号 通巻第5号 特集脇役たちの日本近代文学 54

56頁 叙説舎編 花書院 '03（平成15）年1月6日

井上 聰 横光利一『上海』成立小考―五・三〇事件の描写をめぐって―「解釈」第49巻第1・2号 通巻第574・575集 特集近代 40〜44頁 解釈学会発行 発売日本学会事務センター事業部 '03（平成15）年2月1日

↓『横光利一と中国―『上海』の構成と五・三〇事件―』収録 3 横光利一と中国―『上海』の構成と五・三〇事件 241〜303頁 「四、五・三〇事件 262〜275頁」 翰林書房 '06（平成18）年10月10日

十重田裕一 日本近代文学のアジア2 一九二八年の横光利一―上海へ、新たな展開への模索―「アジア遊学」第48号 特集台湾―模索の中の躍動 198〜207頁 勉強出版 '03（平成15）年2月5日

黄 姣婭 国語国文学会研究発表要旨秋季大会 横光利一と上海―東西文明の衝突と融合への一視点―「国文目白」第42号 170〜170頁 日本女子大学国語国文学会 '03（平成15）年2月20日

金 植薫 『上海』における様々な〈場〉の意味―「他者」を「表現」ということ―「横光利一研究」創刊号 30〜40頁 横光利一文学会 '03（平成15）年2月28日

館下徹志 横光利一『上海』における「在華紡」―擬制としての受難／熱情の発動― 41〜56頁 同右

宮口典之 『シルクハット』論 71〜81頁 同右

中村三春 係争する身体―『旅愁』の表象とイデー― 95〜105頁 同右

伴 悦 横光利一と三木清―一九三〇年代から四〇年代にかけて― 106〜116頁 同右

百瀬瑞穂 紹介 井上謙・神谷忠孝・羽鳥徹哉編『横光利一事典』「成蹊国文」第36号 107〜108頁 成蹊大学文学部日本文学科 '03（平成15）年3月15日

趙 峻 租界・人種・階級―横光利一『上海』が提示する「未来の問題」―「名古屋近代文学研究」第20号 23〜30頁 名古屋近代文学研究会 '03（平成15）年3月20日

十重田裕一 出版メディアと作家の新時代―改造社と横光利一の一九二〇―三〇年代「文学」第4巻第2号3・4月号 特集昭和初年代をよむ 35〜51頁 岩波書店 '03（平成15）年3月25日

山本亮介 言葉の行方―Richi Yokomitsu “Young Forever”（青春）をめぐって―「繡」第15号 5〜19頁 早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻（近代）「繡」の会 '03（平成15）年3月31日

↓『横光利一と小説の論理』収録 第四部 第一章 欧州旅行（一九三六「昭11」）をめぐって 343〜369頁 笠間書院 '08（平成20）年2月28日

冲野厚太郎 モダニズムのたそがれ―横光利一『旅愁』論I―「文藝と批評」第9巻第7号 通巻第87号 44〜64

頁 文芸と批評の会 '03 (平成15) 年5月25日

杣谷英紀 横光利一と「唯物論」―『眼に見えた風』論―

「日本文藝研究」第55巻第1号 33～52頁 関西学院大学

日本文学会 '03 (平成15) 年6月10日

横山恭一 『日本の小説101』 機械 横光利一 (一八九八～

一九四七) 76～77頁 安藤宏編 新書館 '03 (平成15)

年6月5日

村田好哉 横光利一『上海』書誌稿(四)「大阪産業大学

論集 人文科学編」第110号 1～13頁 大阪産業大学学

会 '03 (平成15) 年6月30日

椎名恵美 『あらずじで読む 日本の名著』『機械』横光利一

108～114頁 小川義男編 樂書館発行 中経出版発売 '03

(平成15) 年7月5日

西原大輔 『谷崎潤一郎とオリエンタリズム―大正日本の中

国幻想』第一章「支那趣味」の誕生 23～47頁 「三エキ

ゾテイシズムの連鎖 38～47頁」中公叢書 中央公論新

社 '03 (平成15) 年7月25日

渡邊一民 『フランスの誘惑・日本の誘惑』 I フランスの

誘惑・日本の誘惑 日本人作家にとってのフランス 9～

22頁 三浦信孝編 中央大学出版部 '03 (平成15) 年10月

25日

倉敷 茂 都市空間の系譜学① 二つの上海、二つのモダニ

ズム「早稲田文学」第9次第28巻第6号11月号 54～66

頁 早稲田文学会発行 早稲田大学出版部発売 '03 (平成

15) 年11月1日

↓『私自身であろうとする衝動―関東大震災から大戦前夜

における芸術運動とコミュニケーション』収録 第四章セルロイ

ドの中の革命 横光利一 171～200頁 以文社 '11 (平成

23) 年9月1日

十重田裕一 『芥川龍之介新辞典』 Ⅲひと 横光利一 621～

622頁 関口安義編 翰林書房 '03 (平成15) 年12月18日

二〇〇四 (平成十六) 年

倉敷 茂 都市空間の系譜学② セルロイドのなかの革命

「早稲田文学」第9次第29巻第1号1月号 98～109頁 早

稲田文学会発行 早稲田大学出版部発売 '04 (平成16)

年1月1日

↓『私自身であろうとする衝動―関東大震災から大戦前夜

における芸術運動とコミュニケーション』収録 第四章セルロイ

ドの中の革命 横光利一 171～200頁 以文社 '11 (平成

23) 年9月1日

神谷忠孝 小説に描かれた横光利一「横光利一研究」第2

号 1～7頁 横光利一文学会 '04 (平成16) 年2月28日

渋谷香織 「寝園」再考―成立に関する一考察― 22～32頁

同右

渡邊一民 『近代日本と仏蘭西―10人のフランス体験』 II

両大戦間のパリの日本人 横光利一―パリとの闘い 351

386頁 三浦信孝編 大修館書店 '04(平成16)年3月10日

紅野敏郎 『川内まごころ文学館 総合雑誌『改造』直筆原

稿収蔵図録〕大正・昭和文芸レトロの世界〕『改造』掲

載の原稿公開の意義と喜び 前付1、2 川内まごころ

文学館 '04(平成16)年3月31日

無署名 ⑤横光利一「持病と弾丸」・「婦人」・「春婦」・「純粹

小説論」 8頁 同右

桑島道夫・辻原 登・張 競 (鼎談)「上海モダン」をめぐつ

て「アジア遊学」 第62号 特集上海モダン 8頁 22頁

勉誠出版 '04(平成16)年4月5日

十重田裕一 改造社のメディア戦略と上海―第二次世界大戦

前日本の「中国」言説の一側面― 32頁 39頁 同右

大城立裕 コラム 私の上海 92頁 98頁 同右

黒田大河 『北京』と『上海』「阿部知二研究 城からの手紙」

第11号 41頁 46頁 阿部知二研究会発行 賢明女子学院短

期大学森本研究室発行所 '04(平成16)年5月2日

沖野厚太郎 「こゝろ」のかなた―横光利一「旅愁」論Ⅱ

―「文藝と批評」 第9巻第9号 通巻第89号 37頁 65頁

文芸と批評の会 '04(平成16)年5月25日

米倉 強 横光利一・欧州体験とドストエフスキー―『旅愁』

論の契機として―「都大論究」 第41号 61頁 72頁 東京

都立大学国語国文学会 '04(平成16)年6月17日

↓「国文学年次別論文集成近代3平成17(2005)年」収録 (十六

年度・追補) 横光利一・欧州体験とドストエフスキー

―『旅愁』論の契機として― 387頁 393頁 学術文献刊行会

編 朋文出版 '08(平成20)年2月

村田好哉 横光利一『上海』書誌稿(五)「大阪産業大学論

集 人文科学編」 第113号 1頁 14頁 大阪産業大学学

会 '04(平成16)年6月30日

中川智寛 沈黙の語る小説―横光利一「盛装」試論―「名

古屋大学国語国文学」 第94号 123頁 133頁 名古屋大学国

語国文学会 '04(平成16)年7月9日

山本亮介 『日本現代小説大事典』上海 471頁 471頁 浅井

清・佐藤勝編 明治書院 '04(平成16)年7月10日

↓『日本現代小説大事典増補縮刷版』収録 上海 471頁 471

頁 浅井清・佐藤勝編 明治書院 '09(平成21)年4月10

日

藤尾健剛 書評 綾目広治著『倫理的で政治的な批評へ 日

本近代文学の批判的研究』「昭和文学研究」 第49集 145頁

147頁 昭和文学会 笠間書院発行 '04(平成16)年9月1

日

中川智寛 横光利一「家族会議」の位置―解放の(純粹小説)

―「群系」 第17号 特集芥川賞この十年・中野重治と堀

辰雄(そのⅡ) 91頁 97頁 群系の会 '04(平成16)年10

月15日

吉田司雄 書評 伴悦著『横光利一文学の生成—終わりなき

揺動の行跡』『国文学研究』第144集 39～42頁 早稲田大

学国文学会 '04 (平成16) 年10月15日

井上 聰 横光利一『上海』成立に関する一考察—フィクショ

ンへの史的アプローチ—「総合文化研究」第10巻第2・

3号合併号 日本大学商学部創設百周年記念号 103～117頁

日本大学商学研究会 '04 (平成16) 年10月30日

↓『横光利一と中国—『上海』の構成と五・三〇事件—』

収録 3 横光利一と中国—『上海』の構成と五・三〇事件

241～303頁 「三、第二回目の事件 250～262頁／ 四、五・

三〇事件 262～275頁」翰林書房 '06 (平成18) 年10月10

日

↓『国文学年次別論文集近代3 平成16 (2004) 年』収録 横

光利一『上海』成立に関する一考察—フィクションへの史

的アプローチ— 512～505頁 学術文献刊行会編 朋文出

版 '07 (平成19) 年3月

紅野敏郎 『保昌正夫一巻本選集』 保昌正夫・その人と仕事

309～316頁 保昌正夫著 河出書房新社 '04 (平成16) 年11

月20日

劉 文兵 『映画のなかの上海—表象としての都市・女性・

プロパガンダ』第3部上海イメージの政治学—ハリウツ

ドの上海イメージとの葛藤 179～254頁「第1章日本映画に

おける上海の表象 182～208頁」慶應義塾大学出版会 '04

(平成16) 年12月10日

二〇〇五 (平成十七) 年

藤田三男 新着エッセイ 二人の先生 「槻の木」 2005年1月

号 33～35頁 槻の木会 '05 (平成17) 年1月1日

↓『榛地和装本 終篇』収録 二人の先生 浅見淵、稲垣

達郎 35～39頁 ウェッジ '10 (平成22) 年3月25日

玉村 周 横光利一・『紋章』—〈私〉と〈作者〉と—「武

蔵大学人文学会雑誌」第36巻第3号 通巻第142号 163～

174頁 武蔵大学人文学会 '05 (平成17) 年1月31日

↓『横光利一—瞞された者—』収録 『紋章』—〈私〉と

〈作者〉と— 276～288頁 明治書院 '06 (平成18) 年6月

20日

↓『国文学年次別論文集近代3 平成17 (2005) 年』収録 横

光利一・『紋章』—〈私〉と〈作者〉と— 161～167頁 学

術文献刊行会編 朋文出版 '08 (平成20) 年2月

小田桐弘子 比較文学への誘い 「福岡女学院大学紀要」人

文学部編 第15号 特集小田桐弘子教授退職記念 15～26

頁 福岡女学院大学人文学部 '05 (平成17) 年2月28日

李 振声 有関横光利一長篇小説『上海』中訳本的若干背景

性説明 「人文科学論集」文化コミュニケーション学科編

第39号 89～93頁 信州大学人文学部 '05 (平成17) 年3

月15日

藤井省三 『20世紀の中国文学』 15村上春樹と中国語圏―日

本文学が国境を越える時 230頁 放送大学教材 放送
大学教育振興会 '05(平成17)年3月20日

小田桐弘子 講義ノートから「小牧近江とアンリ・バルビュ

ス」『福岡女学院大学大学院人文科学研究科紀要『比較文
化』第2号 1頁18頁 福岡女学院大学大学院人文科学
研究科 '05(平成17)年3月31日

石田仁志 展望 『保昌正夫一卷本選集』を読む 横光利一
とは?―保昌氏の研究から見えてくるもの 「日本近代文
学」第72集 311頁314頁 日本近代文学会 '05(平成17)
年5月15日

陳 生保 『中国と日本―言葉・文学・文化』上海と日本の
作家たち 185頁210頁 麗澤大学出版会発行 廣池学園事
業部発売 '05(平成17)年5月30日

佐藤健児 『小説のはじめ 書き出しに学ぶ文章テクニク』
第五二回感覚が感じるままに現実をとらえよ! 横光利一
『上海』一九三二年 287頁293頁 雷鳥社 '05(平成17)年

8月13日

新谷秀明 『アジア太平洋センター研究叢書16 アジアの都
市共生―21世紀の成長する都市を探索する―』第6章表
現される都市―上海 167頁193頁「第2節日本文学と上海―
横光利一 175頁178頁」出口敦編 九州大学出版会 '05(平
成17)年9月28日

渡邊一民 提言 東アジアの日本文学・日本文化研究―その

課題と可能性―(他者)の問題 「日本近代文学」第73
集 249頁251頁 日本近代文学会 '05(平成17)年10月15日

曾根博義 『日本文芸史―表現の流れ第七巻現代I』第一部

新しい感性と認識 概論 15頁18頁 吉田熙生・曾根博
義・鈴木貞美編 河出書房新社 '05(平成17)年10月30日

大久保喬樹 第一部新しい感性と認識 第一章新しい感覚と
知性 19頁76頁「第一節横光・川端・岸田 II横光利一
22頁26頁」同右

金 雪梅 金子光晴の上海―みずから向う「泥沼の底」―

「近代文学論集」第31号 11頁22頁 日本近代文学会九州
支部 '05(平成17)年11月5日

米倉 強 小説にあらわれた日華事変以後―横光利一「旅愁」
(続篇)論―「論樹」第19号 31頁46頁 論樹の会 東
京都立大学大学院人文科学研究科国文学研究室 '05(平成

17)年12月31日

二〇〇六(平成十八)年

日置俊次 横光利一のパリ講演「我等と日本」『青山学院
大学文学部紀要』第47号 1頁26頁 青山学院大学文学
部 '06(平成18)年1月31日

↓『国文学年次別論文集近代3平成18(2006)年』収録 横
光利一のパリ講演「我等と日本」 263頁276頁 学術文献刊

行会編 朋文出版 '09 (平成21) 年2月

田口律男 『都市テキスト論序説』 第Ⅱ部各論 第二章

「一九二〇年代・都市」を視座として 4 横光利一『上海』

論—上海・日本人・アイデンティティ・ポリティクス 246

く 272頁 松籟社 '06 (平成18) 年2月28日

宮崎紗英子 横光利一『上海』にみるジェンダーの失敗：文

学におけるモダニズムと帝国主義 「かりん かりん：女

性学・ジェンダー研究」 第6号 83く88頁 城西国際大

学大学院 '06 (平成18) 年3月8日

王 有紅 『上海』の考察と分身 89く91頁 同右

日置俊次 横光利一論—象徴空間としての「海」—「青山

スタンダード論集」 創刊号 191く219頁 青山学院大学青

山スタンダード教育機構 '06 (平成18) 年3月16日

柚谷英紀 横光利一における〈時間〉の諸相—一九三〇年の

転回—「横光利一研究」 第4号 特集一九三〇年前後

の〈断絶〉と〈連続〉を問い直す 65く75頁 横光利一文

学会 '06 (平成18) 年3月20日

副田賢二 横光利一「時間」「馬車」と〈移動〉のモティー

フ—一九三〇年代初頭の同時代現象として— 76く88頁

同右

日置俊次 横光利一における昭和五年 「青山語文」 第36号

62く73頁 青山学院大学日本文学会 '06 (平成18) 年3月

20日

↓『国文学年次別論文集近代3平成18(2006)年』収録 横

光利一における昭和五年 277く282頁 学術文献刊行会編

朋文出版 '09 (平成21) 年2月

野中 潤 文化研究的観点を生かした文学研究の試み(Ⅲ)

—横光利一「機械」をめぐる—「日本私学教育研究所

紀要」 第41号(2) 教科篇 33く41頁 日本私学教育研

究所 '06 (平成18) 年3月24日

石田仁志 『横光利一の文学世界』Ⅰ横光利一文学への視座

横光利一の恋愛小説—ヘテロセクシズムの視点から 12く

19頁 石田仁志・渋谷香織・中村三春編 翰林書房 '06 (平

成18) 年4月20日

黒田大河 Ⅱ作品の世界 「ナポレオンと田虫」—歴史であ

る「かのやうに」 78く87頁 同右

山本亮介 Ⅱ作品の世界 「上海」—行為の倫理性をめぐる

問いかけ 97く107頁 同右

小林洋介 Ⅲ読むための事典 メディア文化 194く197頁 同

右

松村 良 Ⅲ読むための事典 プロレタリア文学 166く169頁

同右

土屋 忍 Ⅲ読むための事典 ポストコロニアル 202く205頁

同右

斎木徹志 『大人の常識トレーニング③ふり仮名をつけなが

ら文学散歩』2日本全国、名作への旅 横光利一：『上海』

105～107頁 斎木徹志編 彩流社 '06（平成18）年7月30日

高崎隆治 『上海狂想曲』 一国際都市シャンハイ 17～43頁

文春新書521 文藝春秋 '06（平成18）年8月20日

十重田裕一 交錯する「蟹工船」と「上海」をめぐる序説「国

文学解釈と鑑賞」別冊「文学」としての小林多喜二 111～

120頁 神谷忠孝・北条常久・島村輝編 至文堂 '06（平成

18）年9月15日

井上 聰 『横光利一と中国——『上海』の構成と五・三〇事

件——』序 横光佑典 1～2頁／ はじめに 7～9頁

／ 1本文（復刻） 11～164頁／ 2『上海』五・三〇事件

に関する本文比較と異同 165～239頁／ 3横光利一と中国

——『上海』の構成と五・三〇事件 241～303頁／ 4資料『上

海』関連略年表 主要参考文献 305～314頁／ あとがき

316～317頁 翰林書房 '06（平成18）年10月10日

紅野敏郎 『川内まごころ文学館 総合雑誌『改造』直筆原

稿収蔵図録2～気韻生動、文士たちの肉声——』監修のこ

とば 原稿の魅力、活力、と初出誌、初収単行本をめぐつ

て 1～1頁 川内まごころ文学館 '06（平成18）年10月

24日

無署名 ⑥横光利一「掃溜の疑問」（『上海』第三篇） 16～17

頁 同右

削除・伏字部分一覽 42～44頁「横光利一「掃溜の疑問」

「改造」昭和四年六月号掲載時伏字部分一覽 42～43頁」

同右

西部 均 『シリーズ人文地理学8 歴史と空間』第7章近代

都市と空間——地理学批判としての近代上海の歴史地理 139

～163頁 水内俊雄編 朝倉書店 '06（平成18）年10月30日

二〇〇七（平成十九）年

伴 悦 戦時下の横光利一——共同租界を中心に——「横光

利一研究」第5号 特集横光利一と〈戦争〉 1～15頁

横光利一文学会 '07（平成19）年3月12日

野崎六助 夜の放浪者たち——モダン都市小説における探偵小

説未満 第二十八回「横光利一『上海』（前篇）「ミステリ

マガジン」第52巻第4号4月号 通巻第614号 90～97頁

早川書房 '07（平成19）年4月1日

夜の放浪者たち——モダン都市小説における探偵小説未

満 第二十九回「横光利一『上海』（中篇）「ミスリマガジ

ン」第52巻第5号5月号 通巻第615号 168～171頁 早川

書房 '07（平成19）年5月1日

夜の放浪者たち——モダン都市小説における探偵小説未

満 第三十回「横光利一『上海』（後篇）「ミスリマガジ

ン」第52巻第6号6月号 通巻第616号 70～73頁 早川

書房 '07（平成19）年6月1日

↓『日本探偵小説論』収録 第四章上海された男たち 7

金子光晴から横光利一へ 209～217頁／ 8横光利一『上海』

ヴァリアント 217～226頁／ 9 天使と糞 226～232頁 水声社 '10 (平成22) 年10月10日

張 蕾 『芥川龍之介と中国―受容と変容の軌跡―』第四章

芥川の中国旅行と「支那游記」 217～329頁 「五、上海における芥川龍之介と横光利一 274～292頁 2、横光利一と『上海』 280～290頁」 国書刊行会 '07 (平成19) 年4月10日

韓 然善 表象された植民都市と女性―横光利一『上海』をめぐって―「国語国文研究」第132号 27～43頁 北海道大学大学院文学研究科内北海道大学国語国文学会 '07 (平成19) 年5月28日

岡庭 昇 『植民地文学の成立』Ⅱ魯迅・上海・一九三〇年代―植民地のただなかで 113～154頁 菁柿堂発行 星雲社発売 '07 (平成19) 年6月9日

柚谷英紀 新刊紹介 井上聰著『横光利一と中国―『上海』の構成と五・三〇事件―』『横光利一文学会会報』第11号 7～8頁 横光利一文学会事務局 '07 (平成19) 年6月16日

紅野敏郎 『山本実彦旧蔵・川内まごころ文学館所蔵「改造」直筆原稿の研究』はじめに i～iii頁 紅野敏郎・日高昭二編 雄松堂出版 '07 (平成19) 年10月25日

十重田裕一 肉筆と活字のあいだに映し出される文学の実験―横光利一の「改造」掲載草稿の研究 109～123頁 同右

大橋毅彦 膨れ上がる芳秋蘭像―横光利一『上海』直筆原稿

を拠り所として― 125～141頁 同右

劉 妍 トランスナショナル通信「中国における横光利一受容概観」『横光利一文学会会報』第12号 11～13頁 横光利一文学会事務局 '07 (平成19) 年12月1日

二〇〇八(平成二十)年

唐 亜明 『上海』解説 横光利一の『上海』を読む 327～352頁 岩波文庫改版緑七五―二 岩波書店 '08 (平成20) 年2月15日

日置俊次 横光利一「橋を渡る火」論―ロシアのイメージをめぐって―「昭和文学研究」第56集 特集追放／亡命／漂流 72～85頁 昭和文学会 笠間書院発売 '08 (平成20) 年3月1日

浦田 剛 横光利一の「時代感覚」―縦断研究法に基づく『上海』の生成批評に向けて―「繡」第20号 19～35頁 早稲田大学大学院文学研究科日本語日本文学コース(近代)繡の会 '08 (平成20) 年3月11日

劉 妍 横光利一『上海』の「革命の形式」の問題―左翼作家茅盾『子夜』と比較して―「国文学研究ノート」第43号 31～49頁 神戸大学文学部国語国文学研究室内神戸大学「研究ノート」の会 '08 (平成20) 年3月31日

林 京子 『読書のすすめ』『上海』『上海』そして上海 第12集 20～28頁 岩波文庫編集部編 岩波書店 '08 (平成

20) 年5月23日

↓『読書のとびら』収録『上海』『上海』そして上海
171頁 岩波文庫別冊22 岩波文庫編集部編 岩波書店
'11 (平成23) 年11月16日

渡邊一民 戦時下10年の中国と日本(上)——中国文学研究会
をめぐって——『思想』2008年6号 No.1010 6頁 34頁 岩波書店
'08 (平成20) 年5月30日

戦時下10年の中国と日本(下)——中国文学研究会をめぐって——『思想』2008年7号 No.1011 123頁 147頁 岩波書店
'08 (平成20) 年6月28日 横光利一の『上海』なし

↓『武田泰淳と竹内好 近代日本にとっての中国』収録
I 戦時下の十年 7頁 93頁「1 中国と日本 7頁 12頁」
みずす書房 '10 (平成22) 年2月25日

武田泰淳 『上海1944-1945 武田泰淳『上海の螢』注釈』上海
の螢 7頁 210頁「雑種」119頁 151頁 大橋毅彦・趙夢雲・
竹松良明・山崎眞紀子・松本陽子・木田隆文編著 双文社
出版 '08 (平成20) 年6月20日

山崎眞紀子 注釈 横光利一の「上海」(140頁) 138頁 139頁
同右

倉橋幸彦 『上海本』蒐録(4) 155頁 176頁「105 上海 横光利
一 164頁 164頁」大阪産業大学 人間環境論集」第7号
大阪産業大学学会 '08 (平成20) 年6月30日

↓『租界上海紙巧図』収録 '9 『上海本』101——上海本蒐録

目録(1878-1932)——128頁 235頁「97 上海 横光利一 216頁 216
頁」好文出版 '13 (平成25) 年4月27日

金季杼 横光利一の『紋章』論——長篇小説の「構成」——「国
語と国文学」第85巻第8号8月号 通巻第107号 54頁 66頁
東京大学国語国文学会編 至文堂 '08 (平成20) 年8月1日

中川智寛 異郷での彷徨——「上海」の一解法「日本研究」
第38集 221頁 231頁 人間文化研究機構国際日本文化研究セ
ンター '08 (平成20) 年9月30日

十重田裕一 一九二六年日本、文学と映画との遭遇「比較
文学研究」第92号 特輯横光利一 5頁 17頁 東大比較
文学會編 ずさわ書店 '08 (平成20) 年11月30日

林少陽 漢字圏文脈のモダニズム文学——近代修辭批評の系
譜における横光利一の批評理論について——47頁 64頁 同
右

教誓悠人 横光利一「或る長篇」「上海」研究——改稿過程
及び構成について——「近代文学試論」第46号 23頁 36頁
広島大学近代文学研究会 '08 (平成20) 年12月25日

蘭明 李箱における横光利一受容の深層——『上海』および
「青い大尉」との葛藤——「日本研究」第38号 187頁 209頁
韓國外國語大學校日本研究所 '08 (平成20) 年12月30日

二〇〇九(平成二十一年)

韓然善 改造される『上海』——外国人表象を中心に

―「北海道大学大学院文学研究科研究論集」第8号第2分冊 53～74頁 北海道大学大学院文学研究科 '09（平成21）年1月19日

浦田 剛 「或る長編」から『上海』へ―雑誌『改造』を基軸とする外在的な考察の試み―「繡」第21号 72～85頁

早稲田大学大学院文学研究科日本語日本文学コース（近代）繡の会 '09（平成21）年3月12日

日置俊次 横光利一論―ヨーロッパからの帰路―「青山語文」第39号 67～81頁 青山学院大学日本文学会 '09（平成21）年3月20日

↓『国文学年次別論文集近代3平成21（2009）年』収録 横光利一論―ヨーロッパからの帰路― 201～208頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '12（平成24）年6月

天野知幸 マリヤはマリヤひとりの死を死ぬ―武田泰淳「聖女俠女」と戦後の上海―「金沢大学国語国文」第34号 特集上田正行教授退任記念 88～97頁 金沢大学国語国文学会 '09（平成21）年3月23日

高綱博文 『国際都市』上海のなかの日本人』第2章上海「在華紡」争議―一九二五年 70～115頁 研文出版 '09（平成21）年3月23日

横光利一 【口絵写真】昭和十三年訪中・未公開手帳メモ「横光利一研究」第7号 i～iv頁 横光利一文学会 '09（平成21）年3月30日

井上 聰 横光利一、最後の訪中未公開手帳メモについて 1～11頁 同右

大橋毅彦 横光利一文学会第九回研究集会（立命館大学国際言語研究所共催）「特集 東アジアネットワークの中の横光利一」より コロナム・鄒其山・Lyceum・上海ゲット

―／ゲストスピーカー大橋毅彦・デイスカッサント金泰暉・デイスカッサント崔真硯・コーディネーター中川成美 50～81頁「ゲストスピーカー大橋毅彦氏 52～68頁」

同右

佐山美佳 「落下」する物語の行方―モダニスト・横光利一と北川冬彦をめぐって―「第32回国際日本文学研究集會會議録世界文学の中の日本文学―物語の過去と未来―」第32巻 95～105頁 人間文化研究機構国文学研究資料館 '09（平成21）年3月31日

蘭 明 李箱における横光利一受容の実態及びその深いわけ―一九三〇年代北東アジア文学形成の表象として― 107～117頁 同右

竹松良明 知二の（上海もの）の色調―戦時下上海の都市イメージの変容―「阿部知二研究 城からの手紙」第16号 14～22頁 阿部知二研究会 '09（平成21）年4月26日

揚 韜 トランス・ナショナル通信 望平街―近代上海のフリート・ストリート「横光利一文学会会報」第15号 7～9頁 横光利一文学会事務局 '09（平成21）年6月20日

蘭 明 李箱「地図の暗室」を浮遊するゝ上海――横光利一

受容およびその他―「日本研究」第40号 273～294頁 韓

國外國語大學校日本研究所 '09（平成21）年6月

小田光雄 『古本探究Ⅱ』7 『横光利一全集』と『上海』 65

ゝ71頁 論創社 '09（平成21）年8月20日

黒田大河 堀田善衛と上海―「祖国喪失」と「無国籍」のあ

いだ―「日本近代文学」第81集 176～191頁 日本近代

文学会 '09（平成21）年11月15日

中沢 弥 トランスナショナル通信 砂塵の中の上海「横

光利一文学会会報」第16号 8～10頁 横光利一文学会

事務局 '09（平成21）年12月12日